

**Windowsパソコンに
必ずついている
「ペイント」ソフトで、
オリジナル画像をつくらう**

アプリ一覧から起動しよう

- ・タブレットは、画面をタッチしてもいいのですが、キーボードから起動するやり方もおぼえましょう。



- ①キーボードの「まど」マークを押そう。
(Windowsキー)



- ②キーボードの「↓」矢印キーで、パソコンに入っているアプリの名前を順番に見ていこう。

- ③平面画像をつくるときは、「Windows アクセサリ」→「リターン↵」キー
→「ペイント」→「リターン↵」キー。
立体画像をつくるときは、
「ペイント3D」→「リターン↵」キー。

「ペイント」を使ってみよう

- ・画面上に指で絵を描いたり、加工したりすることができます。
- ・すでにある画像を加工する場合に、使いやすいです。
- ・画像の読み込みは、「ファイル」→「開く」で開きましょう。

The image shows the Microsoft Paint application interface with several annotations. A red rounded rectangle highlights the color palette. Blue arrows point from text boxes to specific UI elements: '選択' (Select) tool, 'サイズ変更' (Resize) button, '線の色' (Line Color) dropdown, and the zoom slider.

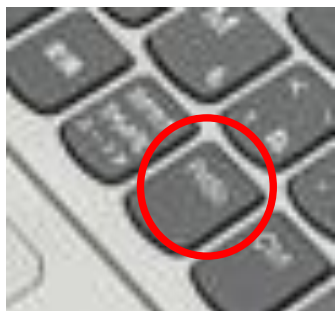
①読み込んだ画像が大きすぎる場合は、「サイズ変更」

②対象範囲を指定する「選択」ツールは、よく使います。いる部分だけを切り取ることができます。範囲指定して、「トリミング」を押そう！

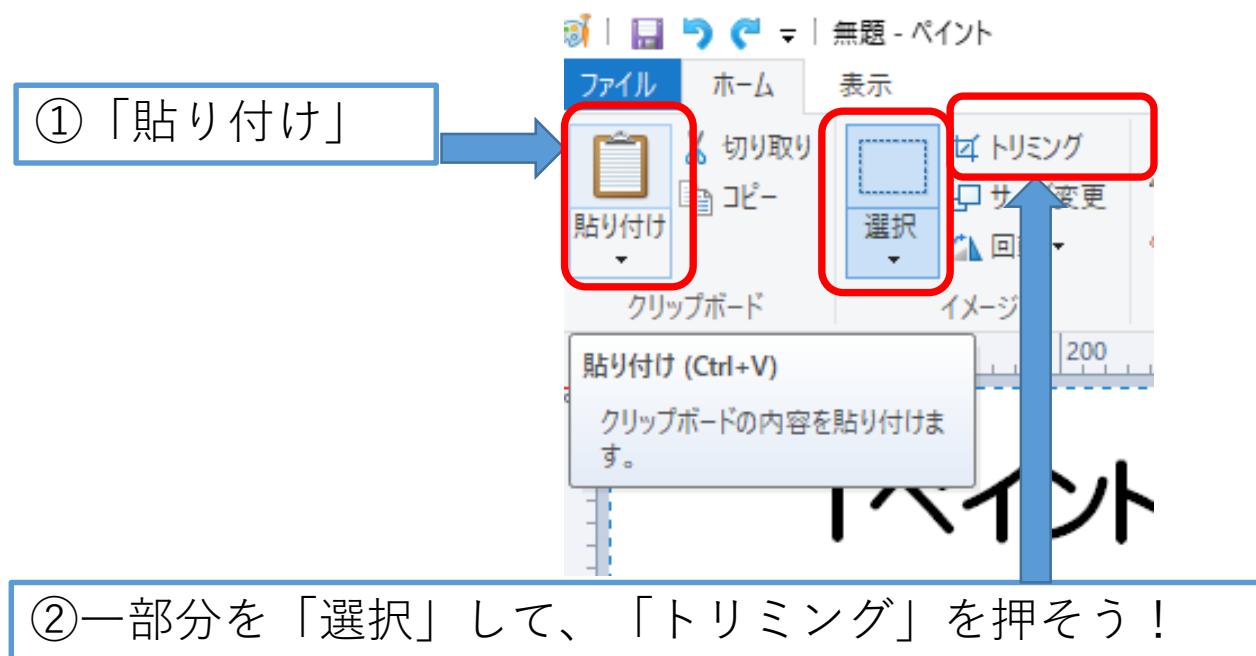
③手書きで描く時の線の太さや、色を選べます。

④画面の右下にあるバーを動かして、拡大縮小。細かい範囲を加工する時に、拡大してからやろう。

画面写真を加工しよう



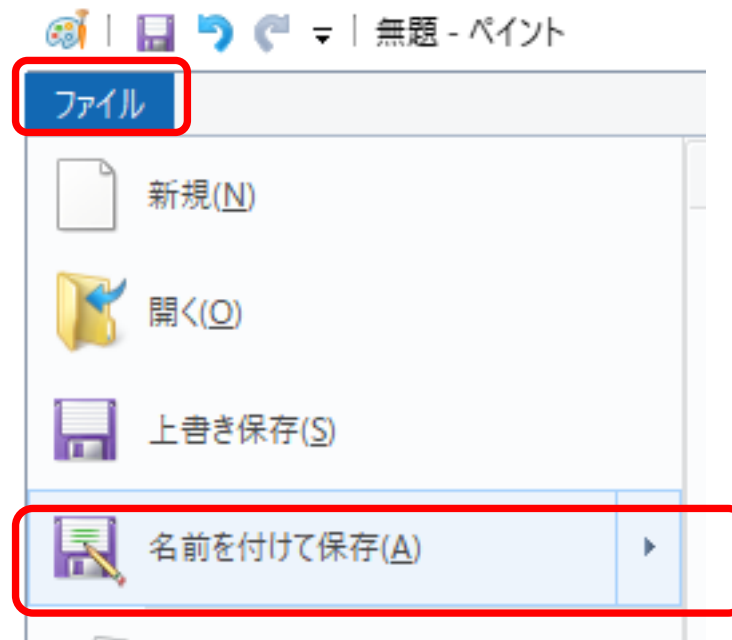
- ・今の**画面の写真をとる**のは、「PrtScn」（プリントスクリーン）キーです。
- ・その直後に「ペイント」で「貼り付け」をすると、先ほどの画面写真が貼り付きます。
- ・いる部分だけを切り取ったり、上から何かを重ねたりしましょう。



※この説明書も、こうやって作っています。

保存しよう

- ・ 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」
（すでに名前がある画像は、「上書き保存」でもOK。）



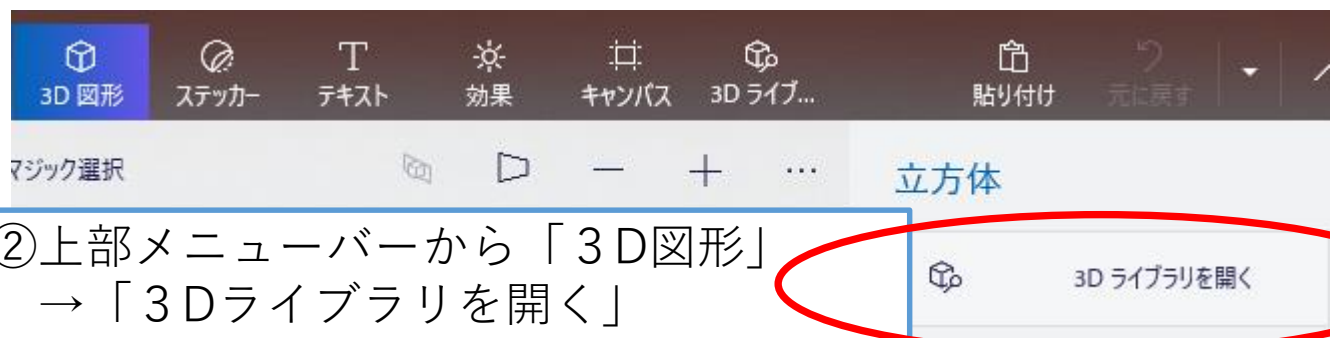
※保存のしかたはいろんなソフトで共通です。
保存しないと次に同じ画像を開けなくなるので、
保存する習慣をつけましょう。

「ペイント3D」を使ってみよう

- ・「3Dライブラリ」をもとにすると、立体的なキャラクター絵が簡単にできます。
- ・作った絵は、ワード文書や、パワーポイント、「スクラッチ」などのプログラミングの中で使用できます。



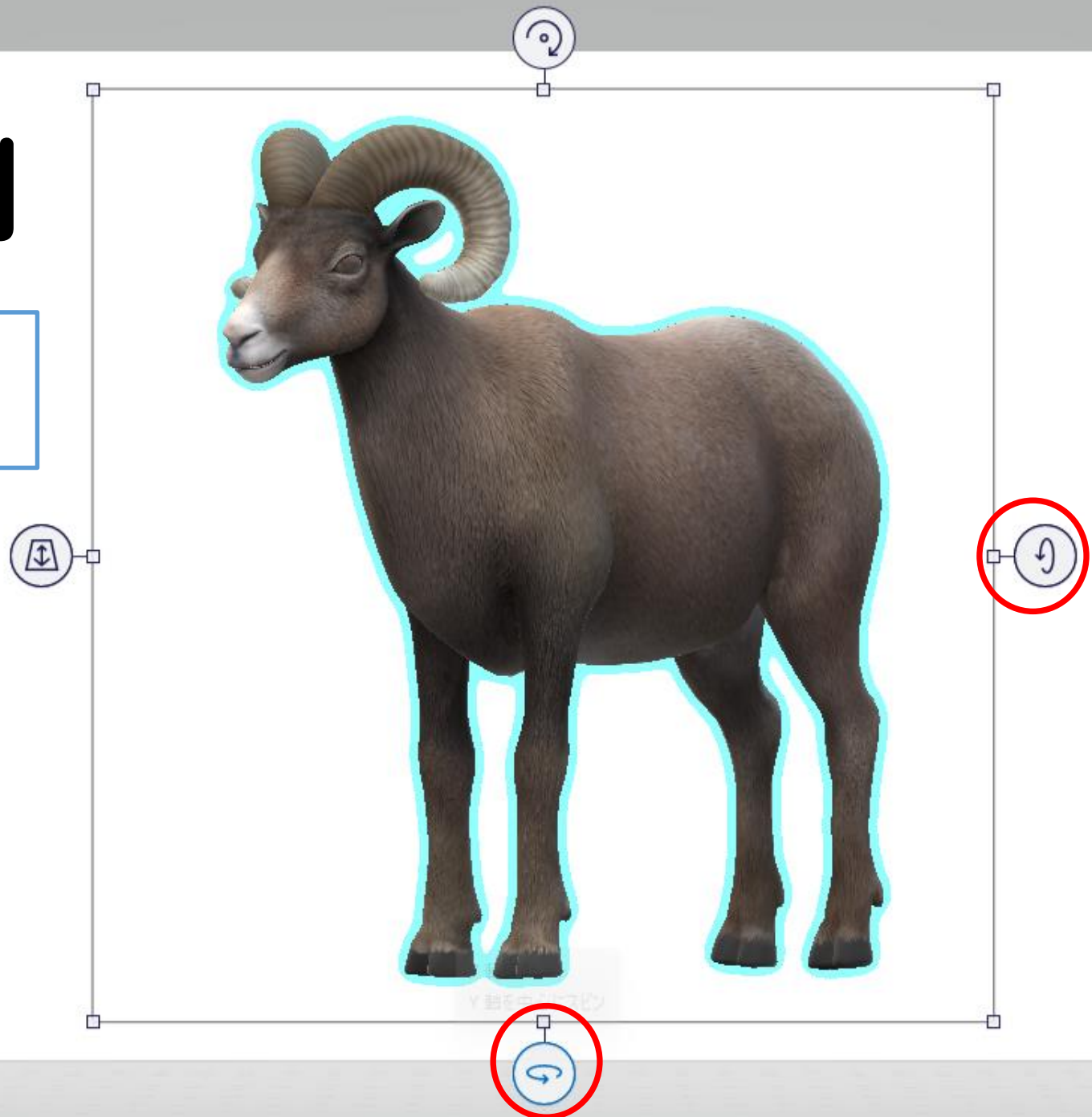
①まどのマークのアプリのリストから、あいうえお順で「ペイント3D」を見つけて起動。
(「ペイント」を起動している場合、「ペイント」のメニューの一番右端のアイコンからも起動できます。)

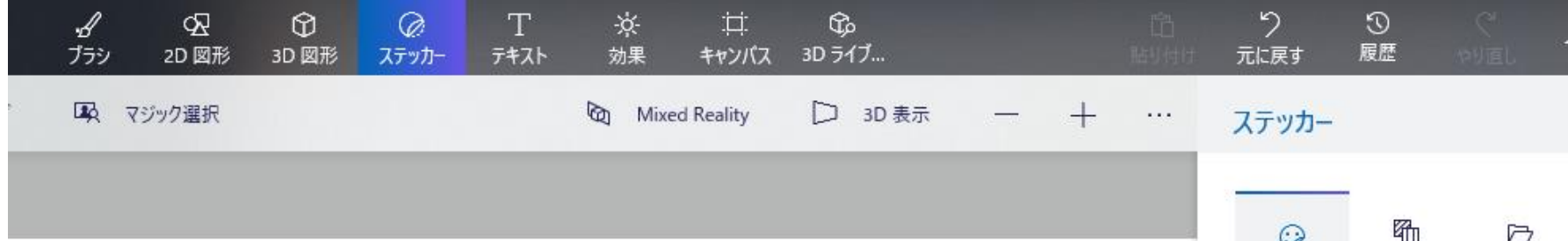


②上部メニューバーから「3D図形」
→「3Dライブラリを開く」
→好きな3D画像を選ぶ。
(いろいろあります。)
※ネット接続が必要です。
複雑な立体ほど、
読み込みに時間がかかります。

「3Dライブ러리」

③上下方向や左右方向に
自由に回転して、
好きな向きにしよう。





④上部メニューバーから「ステッカー」
→ 3D画像の表面に合うように貼りつく。

- ⑤ 「Mixed Reality」を押すと・・・
→ 3D画像が現実のカメラ画像と合成されます。
人が動くと、3D画像も動きます。



いろいろ、やってみよう！

おわりかた

- ⑥アプリ左上の「メニュー」から、保存。
- ・「画像」なら、他のアプリでも使えます。
 - ・3Dプロジェクトとして保存すると、「ペイント3D」でもう一度読み込んで、編集しなおせます。

